

# 遅延している胆沢区愛宕地区の中山間地域総合整備事業について

**質問** 現状ではいつ終わるか、皆目見当がつかない状況である。来春まで終わるとされていた分の半分にも満たない状況である。今年の秋は、ひとつのブロックもできないと、説明をされ途方にくれる状況にある。

このままでは、事業から撤退を申し出る農家が出かねない。ぜひ、このような農家がでないようにしたいと思う。そのためには、計画に大きく違わない事業の推進が必要であり、そのためのご尽力をお願いする。

**市長** 他地区での事業完了地区が見込まれること、事業の中盤になることから予算の増額が見込まれると聞いている。用水路の老朽化により維持管理に多大な労力を費やしていることを、県や国に強く訴えながら優先して事業を進めたい。

**国保の資格証の発行はやめるべき**

**質問** 資格証を発行しても収納率は向上していない。市の説明では、発行する具体的理由がない。国民皆保険制度の趣旨、社会保障の趣旨から、国民健康保険の資格証の新規発行はやめるべきである。

**市長** 盛岡市では収納業務を優先するため新規の発行をやめている。現在の運用を今のところ考えているが、広く考えなければならぬ問題だと認識する。

**介護保険の改悪案に明確な反対の意思表示を**

**質問** 厚生労働省が、9月19日、社会



今野 裕文 議員(日本共産党)

保障審議会介護保険部会に論点を提示し、介護保険の改悪案が示された。市長は、反対の意思表示をすべきでないか。

**市長** 実施されれば介護予防の機能がなくなることから大きな課題となる。市としては、国に同様のサービスの国が行っていただかなくてはならないと考える。国への対応については、県の市長会を通じて検討したい。



壊れた高架式水路に塩ビ管を入れての用水模様

## 放射能汚泥の仮置場の撤去

**質問** 平成23年3月11日の東日本大震災による福島原子力発電所の爆発による放射能の飛散で、胆江地域にも放射能が降り、その除去対策に苦慮してきた。特に、水沢南地区振興会は、市の指導で側溝の放射能(セシウム)が付着した汚泥の処理と汚泥物の仮置場を探し対応してきた。その仮置場の設置終了期限3年が迫ってきたが、進捗状況を聞きたい。

**市長** 仮置場に埋設している汚泥物を掘り起こし、乾燥したあと焼却して最終処分場に埋設する。これは国の指導であり、平成29年3月末には完了する。

### 公園の整備と管理

**質問** 市が管理する公園は271カ所あるが、その内、都市計画図に記載されている46カ所を調査した。それらの公園は、住宅地にあるが、除草や生け垣の管理がされていない。どのような整備と管理をしているか。

**市長** 住宅地にある公園であるので、周辺の地域に整備を依頼しているが、徹底していないのが現状である。管理については公園内の遊具

等の老朽化に配慮している。今後は、立派に整備されている公園を参考にして整備や管理を進めていく。

### 奥州湖周辺の観光策

**質問** 先日の早稲田大学院生グループによる奥州湖周辺の観光レポートを、どのように評価しているか。

**市長** 奥州湖は、市の新しい観光地になりうる地域であるので、この観光レポートを参考にして、実現に努力したい。



きちんと整備されている高台児童公園(水沢区)



千葉 悟郎 議員(市民クラブ)